

「未来へ向かい 学び続ける佐津っ子の育成」

～ふるさとに根を張って～

避難訓練・煙体験実施！！

10月4日（水）にみかた広域消防香住分署予防課より中村消防士さんを招いて、避難訓練・煙体験を行いました。今回の避難訓練は校舎2F理科室から出火したという想定で訓練を行いました。非常ベルが鳴り、異常を感知した理科室へ職員が状況確認に向かいました。職員からの連絡で、理科室からの出火が確認され、教頭先生の避難開始放送で全校生が校庭に避難しました。その間、2分30秒。早いクラスは1分30秒で避難を完了しました。全児童が一言も言葉を発せず、落ち着いて、素早く、安全に避難してきました。訓練が終わっての講評の中で避難時間について触れましたが、子どもたちは1分30秒も2分30秒も決して早い避難時間ではなかったと思っています。実際に火の回りが早く、1分30秒で安全な場所へ避難できるとは限りません。子どもたちにはできるだけ早く、安全に避難することを心掛けてくださいと話しました。そのあと消防士の中村さんにお話をしていただきました。火事のこと、避難するときには心掛けなければいけないことなど、普段から考えておかなければならないことなどについて話していただきました。また、避難するときにはプロテクティブ・フードという透明な袋をかぶって避難する方法も教えていただきました。

その後はテントに煙を充満させて煙体験をする予定でしたが、機械がうまく作動せず、発煙筒をテントの中で焚いて煙の怖さを確認しました。子どもたちが下校するまでに煙を発生させる機械も使用できるようになり、全校生が煙の中を移動する体験もすることができました。訓練が現実になってはならないと思いますが、いざという時には落ち着いて安全に行動してもらいたいものです。



全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日(火)に今年度の全国学力学習状況調査が実施されました。6年生を対象に国語・算数・児童質問紙調査が実施されました。今年度の結果が出ていますので、よくできている内容、課題となっている内容等の一部について紹介します。なお、この調査で測定可能なのは学力の一部であることをお知らせください。



< 児童質問紙より >

(家庭生活)

- スマホやインターネットの使い方について、全ての家庭で平日は1～2時間の使用となっている。休日は1～3時間の使用となっている。家庭での使用時間の約束が守られている。
- 新聞を読む習慣が身についている児童が約半数いるが、家庭では全く読んでいない児童もほぼ同数いる。

(児童の内面)

- 自己肯定感や自己有用感が高い傾向にある。

(学習)

- 学習時間に自分の考えをまとめて発表することができている。
- 全員、平日の家庭学習の時間1～2時間で家庭学習が習慣となっているが、塾の時間も含めて2時間以上取り組む児童はいない。同様に休日も1～3時間で、3時間以上取り組む児童はいない。

【本年度の特徴等】

< 国語 >

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことがあまりできていない。

< 算数 >

- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述ができていない。

< 課題等を踏まえた今後の取組の方向性や新たな方策等について >

(授業・学校生活で)

- ・児童が興味関心を示し、意欲的に授業に取り組む工夫をさらに行っていく。

(各家庭で)

- ・基礎基本の定着を図るための自主学習の取組が学習習慣の定着につながっている。今後も、さらに自主学習の強化を行っていく。